

発生段階に応じた診療継続計画及び地域連携等の概要

第 I 章 総論			
大項目	小項目	主な内容	
1 基本方針	(1) 当院の役割 (2) 段階別対応方針 (3) 優先診療業務の区分	○岐阜県における急性期医療を担う特定機能病院としての役割を果たす ○発生段階別における当院の基本的対応方針 ○優先診療業務（A高い、B中程度、C低い）	
2 診療継続計画	(1) 策定と変更 (2) 当院の役割確認 (3) 職員への周知	○対策会議の目的とメンバー ○急性期医療を担う特定機能病院としての役割を前提条件とする ○本計画の職員への周知徹底方法	
3 意志決定体制	(1) 意志決定者 (2) 代理	○当院の診療体制の検討場面と決定者の決定 ○決定者が事故などで不在の時の代理	
4 情報収集	(1) 情報収集部門設置 (2) 情報の周知	○情報の一元化のための部門の設置とメンバー決定 ○職員への情報周知方法、組織としての情報管理	
第 II 章 未発生期の対応			
大項目	小項目	主な内容	
1 診療体制確保	(1) 優先診療業務決定 (2) 対応能力評価 (3) 入院可能病床数 (4) 連絡網 (5) その他	○優先診療業務の具体的検討 ○当院の人員・受け入れ能力評価、欠勤率 40%時の診療能力 ○入院可能病床数と稼働可能な人工呼吸器の見積もり ○連絡網、職員の通勤経路、欠勤可能性評価 ○外来部門、検査部門など診療継続課題	
2 感染対策充実	(1) 感染対策マニュアル (2) 教育と研修 (3) 特定接種への対応	○既存の感染対策マニュアルの見直し ○教育研修内容の確認 ○特定接種の登録事業者登録と手続き	
3 在庫管理		○医薬品・医療材料の在庫管理	
第 III 章 海外発生期以降の対応			
大項目	小項目	海外発生期、地域発生早期	地域感染期以降
1 対策本部	(1) 対策本部の設置 (2) 組織構成 (3) メンバーの招集 (4) 業務・議題	○設置、構成、招集 ○第 1 回会議の議題	○継続
2 患者の診療	(1) 外来診療	新型インフルエンザ等患者の診療は原則行わない、必要に応じて重症患者は受け入れる	新型インフルエンザ等患者の診察を行うが、原則として重症患者、通院中のハイリスク患者とする
	< 新型インフルエンザ等患者 >	○帰国者・接触者相談センターの案内や帰国者・接触者外来へ紹介 地域感染期を想定した準備	①受付、②診察、③処方 ○空間的分離策の開始および強化
	< 通常患者 >		①受付、②診察、③処方
	(2) 入院診療	新型インフルエンザ等患者の入院は原則行わない、必要に応じて重症患者は受け入れる	新型インフルエンザ等患者の入院診療を行うが、原則として重症患者を優先的に受け入れる
	< 新型インフルエンザ等患者 >	○感染期以降の対応方針を検討	○診療グループ分け ○入院診療
< 通常患者 >	○入院診療需要を減らす努力 ○空き病床の 10%確保	○入院可能病床数把握 ○空き病床の確保	
	(3) 重要診療業務	○救急外来、透析診療等維持	○救急外来、透析診療等維持
	(4) 検査部門	○PCR 検体採取業務の開始※ ○検体の保健所への搬送※	○検査業務の継続
	(5) 薬剤部門・医薬品部門	○在庫管理見直し、安定供給 ○業者連携	○在庫管理見直し、安定供給 ○業者と連携
3 職員対応	(1) 職員体制見直し (2) 職業感染予防 (3) 職員の健康管理	○通勤経路・連絡網の見直し ○人員確認、情報共有等	○欠勤者増加時の対応 ○標準予防策、ワクチン ○過重労働防止、労務管理
4 情報周知	(1) 患者への情報周知	○啓発・広報	○啓発・広報
5 総務機能	(1) 総務機能維持 (2) 委託業者との連携 (3) 業者の連絡先	○事務体制の効率化 ○委託業者と連携、機能維持	○事務体制の効率化 ○委託業者と連携、機能維持
第 IV 章 地域連携			
	(1) 地域連絡会議 (2) 病診・病病連携	○当院役割の確認	○当院役割の見直し

※原則、患者は「帰国者・接触者外来」を受診する。例外的な対応であることに留意。